

特定鳥獣(カワウ)の保護及び管理に係る研修会

研修資料

この研修資料は、下記の研修のために使用されたものです。

そのため、情報が古い場合があります。

また、Web での掲載のために一部修正や削除、構成の変更をしているものがあります。

令和3年度カワウの保護・管理に関する研修会

対 象： 都道府県及び市町村の鳥獣、水産等の関係行政のカワウ担当者

開 催 日： 2021年10月18日(月)、2021年11月1日(月)

場 所： オンライン開催

講師と科目： 基礎編講義

環境省鳥獣保護管理室(鳥獣保護管理の法制度等)

加藤ななえ(カワウの生態の理解)

高木憲太郎(カワウの生息状況と季節移動)

加藤洋(モニタリングの重要性)

山本麻希(鵜的フェーズと管理計画の作成)

応用編講義

坪井潤一(ねぐら・コロニーの分布管理と繁殖抑制)

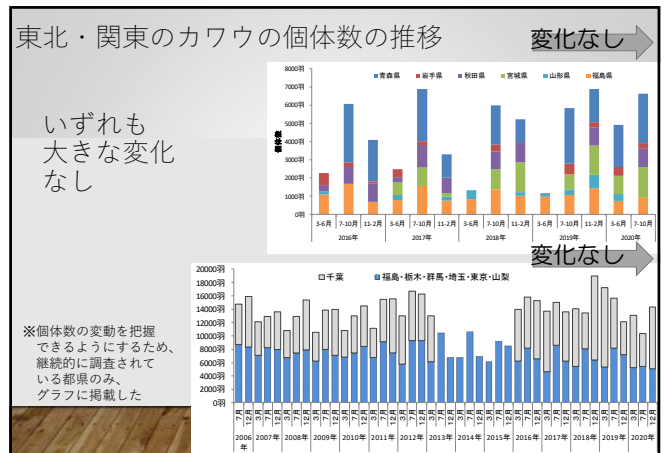
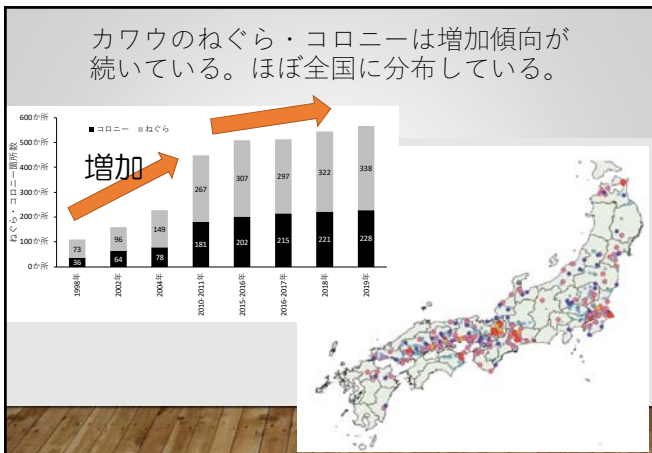
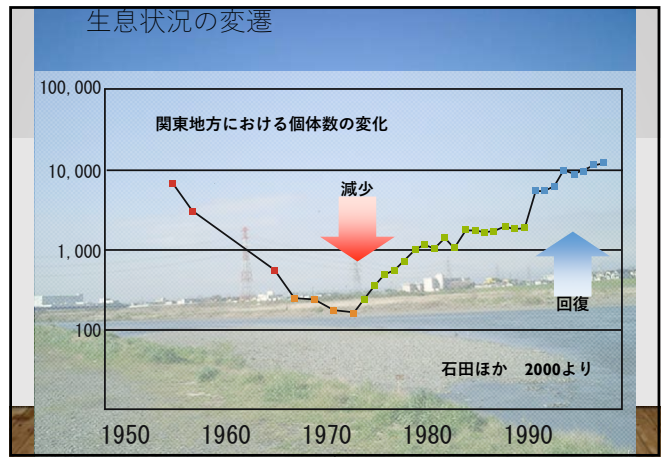
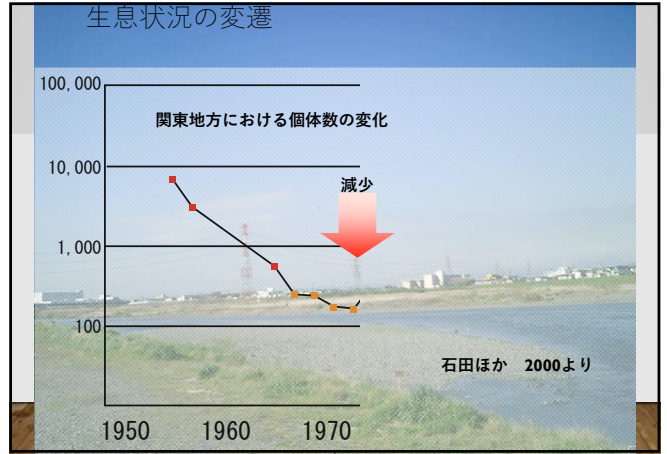
須藤明子(個体数調整をすべき状況の判断と実際)

水産庁栽培養殖課(カワウ被害対策の進め方と水産庁事業について)

対話型講義(講師との個別事例意見交換)

地域の現状や課題事例：千葉県、福井県永平寺町、香川県

助言・意見：加藤ななえ、須藤明子、高木憲太郎、坪井潤一、山本麻希

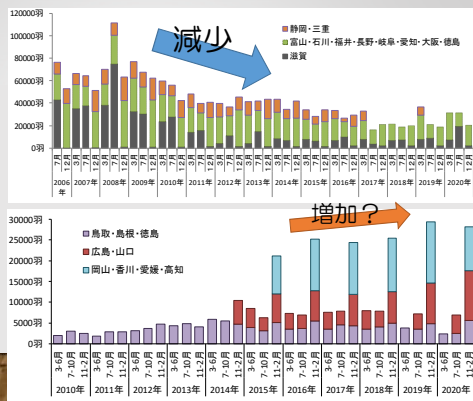


中部近畿・中国四国のカワウの個体数の推移

中部近畿は減少

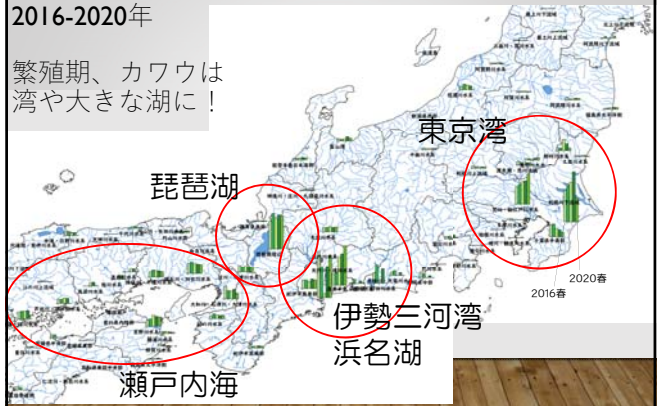
※個体数の変動を把握できるようにするため、継続的に調査されている府県のみ、グラフに掲載した

中国四国は冬期にやや増加



水系区分ごとの春期（3-5）月の個体数 2016-2020年

繁殖期、カワウは湾や大きな湖に！



個体数は季節的に変化している

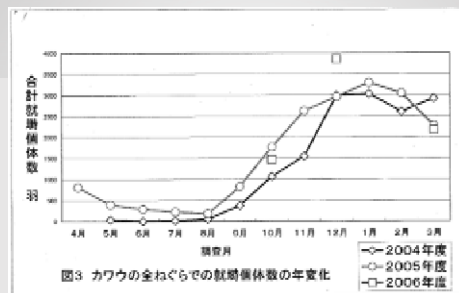


図3 カワウの全ねぐらでの就寝個体数の年変化
平成16年度 平成17年度 平成18年度カワウ食害等影響調査実績報告書 (山口県 日本野鳥の会山口県支部) より

季節を考える

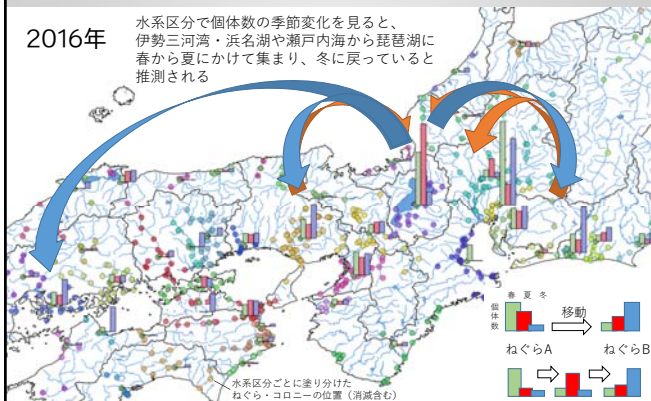
定住型（県内移動ぐらい）のカワウと 大きく季節移動するカワウ がいる



個体数の季節変化から、季節移動を捉える

2016年

水系区分で個体数の季節変化を見ると、伊勢三河湾・浜名湖や瀬戸内海から琵琶湖に春から夏にかけて集まり、冬に戻っていると推測される



個体数の季節変化から、季節移動を捉える

2019年

水系区分で個体数の季節変化を見ると、伊勢三河湾・浜名湖や瀬戸内海から琵琶湖に春から夏にかけて集まり、冬に戻っていると推測される

